



## 表紙は語る

### 遠い小さな山村で 近未来の学び舎に 出逢いました。

群馬県南牧村の義務教育学校「なんもく学園」を訪問しました。

長野県との県境に位置する南牧村は、人口約1300人、高齢化率69%超えで日本一！しかし、村には南牧川の清流が流れ、寒村のイメージを遥かに凌駕する豊かな山里でした。

未来志向の新教育空間の創出をテーマに2年前に建てられた、生徒数16名(小・中学校)の「なんもく学園」は圧倒されるほど立派で、学校というより地域コミュニティが広く利用可能な、特に災害時の二次避難所としての施設を担っていることに納得しました。

当村の式根島学園の今後の動向にも大いに参考になった視察でした。少子高齢化、出生数の激減により、次世代を担う子供たちの学び舎を国が強く支援していくことを願いたいものです。

〈写真・議会事務局 文・大沼 由美子〉

- 2…一般質問
- 9…議会定例会特集  
／出前授業報告
- 10…研修報告
- 11…視察報告
- 12…視察レポート
- 15…議長の目ランド
- 16…スピーカーズコーナー  
編集後記



# 一般質問



まえ だ とし お 議員  
前田 壽夫



鹿の駆除対策について

一括質問方式

## 問

現時点での鹿の捕獲頭数と、捕獲方法で「くくり罠」以外に新たな試みは？

また、新島山の一部を柵で囲むことで、今後、徐々に生息域を狭くしていく計画とのことだが、その進捗状況は当初の計画どおりか？

そして最近では、住民から食害などの話を聞かないが、実際に農地等での

## 被害は無いのか？

## 答

現時点での鹿の捕獲頭数について、令和7年度の総捕獲頭数は216頭で、令和8年5月22日現在で27頭を捕獲している。

次に「くくり罠」以外の新たな捕獲方法の試みや検討については、以前から「くくり罠」以外の有効な罠はないかと試行錯誤してきたが、捕獲実績、設置方法、コストなど総合的に判断した結果、現在の「くくり罠」形式が現状では最も適していると判断した。

このような理由から現状においては「くくり罠」を主力に置き、平地や道路脇では耐久性に優れた従来の「くくり罠」を使用する一方、山奥である新島山などは新型の「くくり罠」を導入している。新

型は耐久力の面では従来品に劣るものの、軽量で持ち運びに便利であり、警戒心の強い高齢の鹿を捕獲するのに長けている。このように、地形やターゲットに合わせて罠を使い分けすることで、効率的な駆除に努めている。

また、新島山の一部を柵で囲むことにより集中的に罠を設置し、根絶を目指すしていくものである。現

在、下山公園の包囲柵の設置については、令和7年度に完了している。その後の設置計画については、資材運搬等で使用する東京都のモノレールの不具合およびレールの破損が生じたため、やむなく当初の計画を変更していく判断をした。現在は、新たな計画を策定中であり、早急に事業再開できるようにしていく。



▲囲い柵の設置による生息域の制限が進められている新島山

## 議会に行こう！

村議会はどこでも傍聴することができます。  
議会が開かれる議場は、新島村役場庁舎の中にあります。

本会議の開始時のみ、開会前に入室していただいても構いませんが、その後の傍聴席からの入退室は自由となりますので、議事進行に差し支えない範囲で少しでも議会を見学・傍聴していただけたら幸いです。役場にこなくても家からインターネット視聴もできます！ また「議会だより」のバックナンバーも読むことができます。

◆議会を傍聴するには／傍聴を希望される方は、議会開会の10分前（通常9時開会ですので8時50分）までに、議会事務局で受付をしてください。議会事務局は役場入口から右手にある階段で2階に上がり、振り返ったところにあります。受付が終わったら、2階右手奥の議場へお進みください。

議会事務局  
はこちら



こちらの  
建物の中に  
村議会議場  
があります

一般質問



とみ た ひろ あき 富田 浩章 議員

ＪＰＢＡボディボード  
新島大会への支援増額  
の検討を！

一問一答方式

問

ＪＰＢＡ新島プロは、選手や関係者１２０名以上が来島、コンディションにも恵まれた大会であった。

ＪＰＢＡから２人の世界年間チャンピオンが生まれている。世界で戦う選手がSNS等を通じて島のことを発信してくれるなら、大きな宣伝効果が期待できる。いつの日か世界大会の誘致、また再び日本でオリンピック

が開催され競技種目に認定された暁には、今度こそオリンピックを誘致する姿勢で村が応援できたなら素晴らしい。未来への投資としても補助金増額の検討を！

答

ＪＰＢＡからの要望があり、内容を十分に精査した上で適正な額であることと判断し、２０１９年までの補助金額であった７０万円から増額し、現在は１００万円を補助している。今後、も事業効果などを勘案しながらＪＰＢＡと協議を続け、より良い大会、村のＰＲの場としての活用につなげたい。



漁業の不良対策

一問一答方式

問

漁師さんいわく「今年は金目鯛、黒ムツ、赤イカなど不漁で経営的に大変厳しい状況であり、イルカやサメ被害もある。自然のこ

となのでしょくないが」とのこと。新島村における漁業の現況と対策は。

答

近年、漁獲量減少に加え、サメなどによる被害、燃油価格の高騰などで、漁業経営は非常に厳しい状況にあると認識している。

東京都および村では、食害対策や、安全確保を目的に「ＡＩＳ導入支援事業補助金」を、氷購入について一部補助を行なっている。

その他さまざまな漁業環境の整備に向けた支援制度を行なっている。引き続き漁業者や漁協から現場の声を丁寧に向いながら、国や東京都との橋渡し役として活用可能な補助制度等の情報提供や要望活動を行い、漁業の維持・振興に努めていく。



農作物等の盗難  
被害防止対策について

一問一答方式

問

住民の方から草刈り機の燃料を盗まれたと聞いた。警察署も被害届が提出されれば、パトロールなど丁寧に対応している。しかし実際に被害があっても届ける方は少ないと感じる。このような行為は許せることではない。盗難被害の情報はあるか。本村だけでなく若郷、式根島地区も含めた盗難被害防止対策を。

答

盗むという行為は決して許されるものではない。現在、大規模な盗難被害の報告は上がっていないが、今後は収穫期等を見据え、防災無線や広報紙などを活用し「被害に遭った場合は小さなことでも警察へ相談し、被害届を提出する重要性」も含め啓発に努めていく。住民の皆さまにも自己防衛と共に、些細なことでも村および新島警察署に届ける意識を



湯の浜露天温泉・  
雅湯の清掃について

一問一答方式

問

新島の湯の浜露天温泉は、２カ月前に高圧洗浄機が壊れたと聞いている。両温泉とも島を代表する観光スポットである。汚れていれば、清掃委託業者に苦情がいく。村は利用者に状況を説明する責任があったと考える。今後の対応は。

答

新島の高圧洗浄機の故障は、当初２ヶ月程度で修理完了の見込みであったが、部品調達の遅れから約３ヶ月を要した。今回の事案を踏まえバックアップ機の導入、効率的な管理法も考えながら検討していく。



## 一般質問



あや ねる 綾 亨 議員



式根にもショートがあればいいな！

一問一答方式

**問** 超高齢社会が到来し、介護の充実が必要だ。式根島住民の要望はどんなものか。

**答** 離島における介護サービスの充実は大きな課題だ。平成25年5月の「式根島高齢住民220名アンケート」で、デイサービス等の各種サービスとショートステイを望む声

が寄せられた。その後「式根島高齢者福祉施設検討委員会」の答申をもとに協議を重ね、デイサービス＋緊急お泊りサービスの施設整備となった。緊急お泊りサービスの実績はなし。式根島住民のショートステイ受け入れは8名の方が月1回5日程程度の利用で、柔軟な対応をしている。

**問** 公約で「寄り添う力」を訴えた。今こそ住民の声に寄り添ってほしい。住民との検討の場を持つ考えはないか。

**答** どのような方法が一番良いか、これから検討する。公約で「離島間の格差解消」を訴えてきた。同じ村民は同じサービスを受けられるべきだ。今ある施設をどのように活用していくか検討を重ね、

より良い施設にしていきたいと考える。



胃がん検診で「鎮静薬」の使用を

一問一答方式

**問** 受診者の苦痛・忌避感を除去するため、希望者に鎮静薬の使用を。

**答** 自治体が行う対策型がん検診では、鎮静剤の使用は原則不可。苦痛が和らぐよう、細い内視鏡を使用し、鼻からの挿入を選択できるようにする。



式根島における「専門診療科目」の拡充を

一問一答方式

**問** 専門診療科目の拡充が必要だ。特に「耳鼻咽喉科専門診療」実施の検討を求める。

## 答

現時点で拡充は明言できない。医療チームの確保、事業費、受診者数等を含め検討する。



村道「式根が沢」野伏線」改修工事の前進を

一問一答方式

**問** 今年度、どのような事業をどこまで進めるか。

**答** 9月末までに地権者への説明会を計画。今後、測量業者の選定・打合せ、現地測量等を予定。



式根島小・中学校の今後のあり方

一問一答方式

**問** 審議会では、小中統合、施設一体型校舎の建設が合意された。今後、保護者・住民の理解・協力を得る取り組みが重要だ。

**答** 保護者・地域住民の理解・合意そして支援を得ることが不可欠だ。審議会の答申を受け、村の方向性を整理し、意見を伺い、理解と合意形成を図る。



▲式根島の介護拠点・福祉健康センター

一般質問



自治会、町会の  
活動内容の再構築

一問一答方式

問

世界有数の災害大国である日本に住む我々は、高い確率で発生が予測されている「南海トラフ巨大地震」や「首都直下地震」だけでなく、台風等の自然災害の脅威に日常的に晒されていると言える。

それらに備える防災対策や減災への知識は、毎年実施されている防災訓練等を通じて島民に啓蒙されている。「公助・共助

・自助」は被災後生き延びるための基本で、このなかの「共助」の中心的な担い手がまさに「地域の自治会や町会」である。

その「日常から人間関係、近所関係を良好にし、誰一人取り残さない魅力ある地域社会をつくる」概念こそが自治会や町会の活動内容に反映され、災害時にも皆で地域コミュニティを守る大きな一助となりえる。

しかしながら、近年は少子高齢化の影響が自治会や町会の存続の危機にも及んでいると専門家が指摘している。今後の「八掛け、七掛け社会」を見据えて、自治会や町会の新しい形への再構築が必要では？

答

当村においても人口減少や高齢化の進行により、自治会役員の担い手

不足や、地域活動への参加者の減少など、地域コミュニティを取り巻く環境は大きく変化している。これまでと同じ仕組みや役割分担を維持していくことが困難になることも想定される。

状況を鑑み、自治会、町会だけでなく老人クラブや消防団なども含め、適正な編成やあり方について、団体の考え方などを尊重しながら、行政として指導支援していきたい。

ひょうたん

災害時だけの

「共助」でなく、日頃からの町会活動に、例えば他の自治体の多くで実施されている地域のゴミ集積場の清掃などを当番制で担ったりすることで、地域の景観が保持される。また、当村でも課題となっている空き家状況の把

握や放置廃車問題等についても、町会活動の副産物として住民自身が自分たちの地域に誇りを持つモチベーションの向上につながるのではと期待したい。

一昨年の能登半島地震後の長期にわたった過酷

な被災生活の報道のなかで、改めて地域の絆の大切さが注目された。幸いなことに、新島では伝統的にお互いを助け合う「もやいの精神」が存在する。いま一度原点に立ち戻り、町会や隣組活動を再構築できないものだろうか。



▲自治会、町会活動を含めて利用できる「自治会連合会館」



## 一般質問



こくぼりか 議員 小久保利佳



離島留学の継続に向けた学生寮の整備と運営体制の具体的な計画は

一問一答方式

### 問

ホストファミリーの募集を何度もしているが、島内に応募の意思を持つ方がいないのではないかと？ 学生寮の整備および運営体制について、具体的な計画策定に進む段階ではないか？

### 答

ホストファミリー方式による受け入れが2年間応募ゼロとなり、生徒

募集ができなかったことは重く受け止めている。学生寮の整備は離島留学制度を持続可能な形で維持していくための重要な選択肢の一つである。寮の管理主体はあくまでも自治体や学校である。寮方式の導入が実現可能かどうか、模索していく。

令和9年度については、ホストファミリーの負担軽減策や伴走支援について、教育委員会と協議を進める。

(村長)

### 答

ホストファミリーには生活面、経済面、精神面で大きな負担をお願いしており、深く感謝している。高校生は多感な時期であり、日々の細やかな関わりが必要。教育的・生活支援的な役割を担う人材を長期的・安定して確保できるかどうか最も重視している点。ま

だ今年度の受け入れを諦めているわけではない。(教育長)

### 問

寮の体制づくりや伴走支援などのノウハウがある地域・教育魅力化プラットフォーム「地域みらい留学」への参画を検討していくことは？

### 答

全国には離島留学の寮整備や運営を支援している団体がある。一般社団法人の「地域・教育魅力化プラットフォーム」の持つノウハウや運営支援は参考になる部分もあるので、情報収集等を行っている。



奨学金償還金免除制度とUターンの効果は？

一問一答方式

### 問

昨年開始した育英資金償還金免除の特例の申請

・相談件数、対象者への周知の状況、Uターン促進の手応えや、効果検証は？ また空き家バンク、移住定住ポータルサイトとの連動は？

### 答

令和7年度の償還対象者は161名で、そのうち35名から免除申請があった。35名のうち1名は昨年7月に帰島し、新たに申請を受けた方。残り

は、制度開始時点で既に村内に住所を有した方々。

現在育英資金を受給、また償還中の方、およびその保護者へ文書で通知しており、制度内容の説明と村内での就業先として、募集情報や問い合わせ先も記載。今後は帰島後の定着状況や就業実態なども含め、多角的な視点から検証を進める。

(教育長)

### 答

移住定住ポータルサイトと連動し、帰島を検討する段階から必要な情報を得られるよう工夫する。(村長)



◀都立大島高校では、今年度4月から離島留学生のための学生寮「星海寮(せいかいりょう)」の運用が開始され、6人の留学生が大島での生活を始めた。

一般質問



よし み かず ゆき  
吉見 一之 議員

中学・高校部活動  
の今後は？

一問一答方式

問

近年、全国的に少子化や教員の労働負担の増大等により部活動の維持が難しく、新島の学校でも廃部となる部活動があると聞いている。

国が推進している地域展開等推進事業を活用し、地域の団体等に運営を移行することによって教員の負担軽減と子供たちが部活動を選択する機会を維持できると思う。

また、地域の団体や保護者等によるボランティア活動で、部活動を支えている現状から村の支援策等を併せてお聞きしたい。

答

現状は教育委員会でも把握しており、継続的な部活動維持や指導員不足等に対応するため、地域指導員を任命し、報酬を支払うことで対応している。

問

新島中学校太鼓部発足のいきさつについても、地域展開を目指したが手続きが間に合わず、今期はやむなく校内活動に留まったと聞いているので、早急な対応をお願いしたい。

また、さまざまな部活動がボランティアによる献身的な活動に支えられているが、遠征費等の支援についてはどうか？

答

地域展開等推進事業については、十分に議論したうえで移行を検討していきたい。

遠征費等については、エントリー費は全額、交通費は2/3を補助している。今後も活用できる補助金等あれば検討していく。

問

近年の旅費高騰等を考慮し、充実した支援を検討してほしい。



高騰する運賃の  
今後の見通しは？

一問一答方式

問

民間の会社の経営方針なので村長に質問するのは筋違いだと思うが、昨今の航空・海上運賃の急騰により、島の生活や産業に悪影響が出ているため、村長の見解をお聞きしたい。

答

繁忙期の運賃高騰は村でも把握しているが、なによりも航路の確保と便数の維持を第一と考えている。来島者数においても横這い状態であり、極端な減少には至っていない。

問

多くの宿泊業者から予算オーバーによるキャンセルがあったと聞いている。住民からもこのことについて多数の意見が出ている。

また、中東情勢によつては、今後さらなる高騰が予想されるため、国や都からの支援をお願いするしかないと思う。

答

話し合いの場があれば、意見として伝えていきたい。



▲距離は変わらないのに年々遠く感じる

問

企業の経営方針に口出しできないことは承知しているが、しかるべき交渉ができるのは村長しかいないと思うので、今後ともお願いしたい。

ひとこと

子供たちの活躍は、いつでも我々大人の予想をはるかに上回る。やりたいことを思いきりできる島であって欲しいと願う。



一般質問



まえ だ かつ とし 議員  
前田 勝利



災害関連死を防ぐ  
取り組みについて

一括質問方式

**問** 災害時においては、地震による津波や家屋・建造物の倒壊、風水害による直接的な死「直接死」だけではなく、避難生活の長期化や環境悪化、持病の悪化、精神的ストレスなどによって亡くなられる「災害関連死」が大きな課題となっている。

災害関連死は防ぐことができる命であり、自治体の備えによって大きく

減らすことができると考える。本村の災害関連死防止への取り組みについて質問する。

避難所生活における健康悪化防止の観点から、トイレ、食事、睡眠環境、感染症対策など、避難所環境整備への取り組みは。

**答** 避難所環境整備への取り組みについて、いわゆるTKB（トイレ・キッチン・ベッド）の基準の整備として、昨年は簡易トイレ6万回使用分を購入している。食料についても7日分の備蓄を目指し補充を行い、睡眠環境についてもこれまで簡易ベッドやマットレス、屋内用テント、パーティションなど整備してきたが、感染症対策の観点からも必要数を精査したうえで補充等行っていく。

**問** 高齢者、障害者、妊産婦、医療的ケアが必要な方など、避難所に避難した後のケアの支援体制はどのようなになっているのか。

**答** 新島村地域防災計画では、医療救護等対策により本村診療所長をコーディネーターとして、健康センターと診療所職員により、初動医療を実施することとなる。まずは傷病者に対する応急措置、トリアージを行い、医療的ケアが必要と判断される場合は、島外へ搬送する。通常の避難所では困難と判断される方については、新島はまゆう会に受け入れ要請を行う予定となっている。災害の規模によっては、島しょ保健所を通じて東京都へ必要な救護班等の応援要請を行っていく。

**問** 本村の地域防災計画において、災害関連死防止をどのように位置づけているのか。

**答** 昨年5月、「災害対策基本法等の一部を改正する法律」が可決され、成立した改正災害救助法では、初めて災害対策に福祉の

観点が入り込まれ、災害関連死の防止対策が強調された。当村においても、次回の新島村地域防災計画改正時には、「第6章医療救護等対策」または「第8章避難」に新たな「節」として災害関連死防止として設け、これまで以上に福祉と防災の連携強化に努めて行く。



▲若郷防災コミュニティセンター



# 議会定例会 特集

令和8年  
第2回  
6月定例会

## 条例改正

○新島村消防団の服務等に関する条例の一部改正

概要…従来の出勤報酬が1日につき3千円を、搜索活動に限り1日の出勤が4時間未満4千円、4時間以上8千円に改める。

**問** 搜索以外の1日3千円は妥当か？

**答** 消防団の活動は、ボランティアの範疇であるため、金額を上げるのは難しい。

**問** 搜索の打ち切り等の要綱は？  
**答** 原則として3日間となっているが、家族等からの要望があれば延長できる。

## 請負契約等の変更

○式根島水処理センター場内整備工事請負契約の締結

**問** 設計図面には外部投入口がないが、汲み取り汚物の処理はどうなるのか？

**答** 外部投入口が無くても対応できるので問題は無い。

## 一般会計補正予算

### 民生課

**問** 低所得世帯エアコン購入費助成の対象世帯とは？

**答** 非課税世帯のうち設置していない、または故障して使えない家庭を対象としており、役場職員が現地確認のうえ実施する。

**問** 年間の予算規模は？

**答** 非課税世帯412世帯のうち10%の1/2を考えている。

## 農林水産業費

**問** 現在故障している地域休養施設の砂風呂の再開用途は？

**答** 夏前を目標としている。

## 式根島小学校への 出前授業報告

式根島小学校6年生への出前授業として、6月23日の5時間目に私、議長・木村と式根島在住の綾議員、議会事務局長の3名で訪問しました。

児童からの事前質問を議員・議会・行政側のテーマに分類し、過去のスライドを流れに沿って再編集して説明しました。議員の事前回答を紹介したうえで、10分ほど対話の時間も設けました。

児童からは、式根島で学童保育施設や勤労福祉センターのような子育て支援施設がないか？といった質問や、今回の出前授業を通して『議員・議員がやっていることが身近に感じられた』という感想も。

自分たちで作りあげる精神が根付く式根島。島の未来につながるような当事者意識を刺激できたら幸いです。

(文責・木村)



▲話を聞いている時も視線を向けてくれ、素直でとてもいい二人の児童でした。外部の人が来て話を聞くというのは刺激があるのかな？ 気合いが入りましたね(綾亨)



## 東京都町村議員研修会に参加 大沼 由美子

5月7日に毎年恒例の「東京都町村議員研修会」が催されました。

第1部は跡見学園女子大学教授の鍵屋一氏による「議会の災害対応とBCP」の講演でした。板橋区での防災課長、福祉部長、危機管理担当部長等数々の現場でのキャリアに加えて、自治体の防災対策全般においても、実践に裏打ちされた専門家としての講演内容は驚くほど秀逸でした。

ご出身である秋田弁のユーモアで聴衆を最後まで飽きさせず、気づけば地域防災の基本から具体的な対応までの知識が活性化されました。なかでも災害時の「共助」を担う町内会、自治会、近所のつながりの大切さには大いに共感しました。



また「自分は大丈夫!」という「正常化の偏見」、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりしてしまう人間の特性についても理解を深めました。

第2部の意見交換会では、日頃お話する機会が少ない議員の方々と和気あいあい情報交換することができ、有意義な時間を共有できました。

\*BCP・事業継続計画

## 全国町村議会議長・副議長研修会を終えて 青沼 弘

5月26日、東京国際フォーラムにて全国町村議会議長・副議長研修会が開催され、3名の講師の方々にそれぞれ、

- ・地方創生の先行き「地域未来戦略とともに」
- ・人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践
- ・男女共同参画で地域を元気に「人口減少社会を生き抜く万策」

というテーマで講演を行なっていたいただきました。

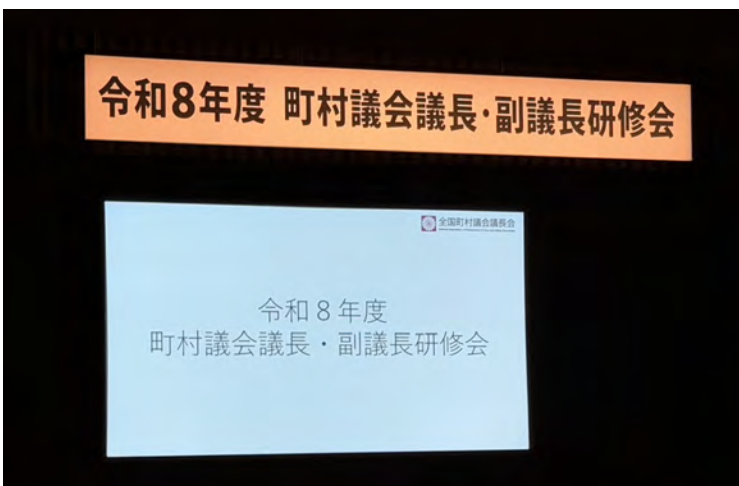
特に印象に残ったのは外国人労働者の在留資格に関する制度見直しです。技能実習制度が発展的に解消され、育成就労制度・特定技能制度へと移行していく点が取り上げられました。

この制度は、技能移転による国際貢献を目的とする技能実習制度を発展的に解消し、我が国の人手不足分野における人材の育成・確保を目的とする育成就労制度が創設されました。(令和9年4月1日から運用開始)

外国人労働者に関する制度見直しは、決して遠い話ではなく、地域にとっても身近で重要な課題であり、今後の受け入れ体制や対応のあり方にも影響を及ぼしていくものと感じました。

新島村で

も、はまゆう会が人材不足の解消に向けた取り組みとして、令和元年9月からミヤンマー出身の介護技能実習生の受け入れを開始しています。





# 視察報告

## なんもく学園

式根島で学校のあり方に関する議論が大詰めを迎えていることから、令和6年4月より義務教育学校として開校した群馬県南牧村のなんもく学園を視察しました。村長、教育長をはじめ、南牧村議会の皆さまから、義務教育学校を新たに設立した経緯や地域との関わりについて詳しくお話を伺いました。その後、授業中のなんもく学園を訪問し、学園の概要や取り組みについて説明を受けました。



なんもく学園



新島村議会では、議員の能力向上と政策提案の充実を目的として、年に一度、研修視察を実施しています。今回の視察では、教育環境の充実、離島留学の継続的な受け入れ、特定有人国境離島への追加に伴う影響を主なテーマとしました。5月18日から19日にかけて、短い時間ではありましたが、議員7名と事務局が参加しました。本視察で得られた学びについて、それぞれの議員の視点から報告いたします。

## 日本離島センター

令和9年4月から新島村が「特定有人国境離島」に正式に追加される見通しであることから、日本離島センターを訪問しました。制度の概要に加え、追加によって想定されるメリットや課題についてお話を伺いました。



日本離島センター

## 群馬県立嬬恋高校

離島留学の継続的な受け入れについて検討している経緯から、地域みらい留学に参画している群馬県立嬬恋高校も訪問しました。嬬恋村役場では、地域魅力課の担当者と嬬恋村議会議長から、地域が高校の存続に力を入れてきた経緯などについてお話を伺いました。また、探究コースの寮と未来創造コースの寮を見学し、寮母さんからも直接お話を聞くことができました。



嬬恋高校



## なんもく

### 学園

綾 亨

南牧村は、群馬県南西部、長野県との県境に近く、標高差のある山間地に『川とともにある地域愛』（吉見一之）を感じさせ、昔ながらの日本の農村風景が色濃く残る集落です。全国一の高齢化率69%でも知られ、人口は1223人（令和8年5月時点）、児童・生徒は16人とのこと。

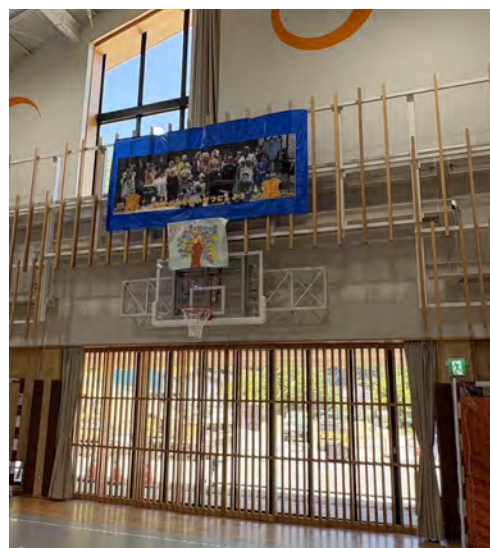
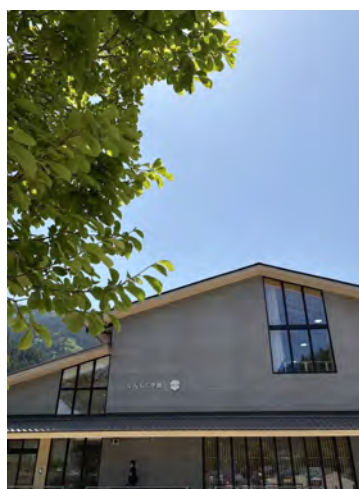
えっ？  
これが学校？

一見すると老舗の宿のような木造平屋のがつしりした建物が目に入ります。玄関に入ってもまだ、

学校とは思えない独創的な造りです。中に入っ見てまわると、アリーナ（体育館）、図書コーナー、壁がない教室らしきスペースなどがあり、児童・生徒と教員の姿が見え、『やっぱりここは学校だ！』（綾亨）と言い聞かせました。

議員各自が校長・教育長・教職員らと校内各所で話を交わしました。

『創意を凝らした校舎に驚きを感じつつ、児童・生徒の減少が気にかかる』（大沼由美子）現状も存在しました。



『教育は、未来への投資である』（前田勝利）『コンパクトな校舎で、少人数で使い勝手が良い感じ。まだ2年、今後が楽しみ』（青沼弘）であり、南牧村の未来として、歴史を重ねることを願います。

## 保護者・住民の 理解・支援が 決め手

住民から「人口が減少するのに新しい校舎をつくるのはどうか？」との声



えます。『教育委員会が、住民・議員ら全方向へ理念を語る姿勢が土台』（木村諭史）となっていることを共有したいと思います。

この地域の宝として永く残るものと思います。今後の、新島村式根島の学校の在り方を考えるうえで、貴重な知見を得ることができました。

もあつたと話されていました。保護者・住民の理解、支援を得ることに力を注ぎ、この事業を一歩一歩進めてきたことが伺

## 地域の 大切な「宝」

新たな校舎で新たな歴史が始まりました。開校に至る過程で、校名・校章・校歌を公募し、審議を得て決定したと聞きます。『このプロセスは地域の結束を強める重要な役割を果たした』（小久保利佳）と確信しました。



# 姫恋高校 視察報告

小久保 利佳

## 学生寮整備の 取組を学ぶ

群馬県北部に位置する県立姫恋高校を視察しました。目的は、村外・県外から生徒を受け入れるために整備された学生寮の取組を学ぶことです。姫恋高校では、平成30年頃から入学生徒の減少に加え、地域の特色あるスポーツであるスピードスケートの競技人口減少が課題となっていました。競技を続けたい生徒を受け入れる環境を整えるため、村は学生寮「あさま寮」を整備し、探究アスリートコースの生徒を支えてきました。

## 全国から生徒を 迎える仕組み

応募者の増加に伴い寮は増築され、さらに令和7年度からは県・村・高校が連携して「地域みらい留学」に参画し、新たに未来創造コースを設置して全国から生徒を募集しています。現在は、あさま寮に加え、隣接する村営住宅の一部をリフォームし、未来創造コースの生徒も受け入れていきます。



地域みらい留学

## 学校の存続は 地域の課題

背景には、高校だけの問題にとどまらない地域の切実な事情がありました。姫恋村民や高校生が利用するJR吾妻線の存続、県内で学校の統廃合が進むなかで姫恋高校を特色ある高校として残したいという強い思いです。

## 視察を通じて 感じたこと

案内してくださった未来創造課の村職員の方と姫恋村議会議長からは、今後も学生寮のさらなる整備を検討しており、特に食事の提供が重要であるとの説明がありました。

あさま寮で生徒に食事を提供している寮母さんは、もともと下宿の経験があるご夫婦で、お話からは仕事を超えた生徒への深い愛情が伝わってきました。生活の場である寮は、単なる宿泊施設ではなく、安心して学び、挑戦するための大切な支えになっています。

今回の視察を通じ、「学校の存続」が「地域の存続」と深く結び付いていることを改めて実感しました。過疎化や少子化が進む地域において、学校は教育の場にとどまらず、地域の大人が子

供たちを支え、見守り、地域の未来をつくる拠点となっています。

高校の存続は地域全体の活力を維持するための重要な条件であり、教育への投

資は持続可能な地域づくりそのものです。

当村においても、子供たちの学びと暮らしを地域全体で支える視点を大切にしていきたいと感じました。



▲探究アスリートコースの留学生在生活する「あさま寮」

## 公益財団法人 日本離島 センター

吉見 一之

### 少数精鋭の 日本離島センター

議員視察の最終日、永田町にある全国町村会館にある「日本離島センター」を訪問しました。

日本離島センターは、全国の離島の振興と発展を目指して設立された、離島振興推進の公益財団法人で、同センターが主催する未来の島づくりを語り合う高校生イベント「アイランダー高校生サミット」には、新島高校の生徒たちも積極的に参加しており、次世代のリーダーを創出しています。



アイランダー高校生サミット



日本全国の離島振興を取りまとめていると聞き緊張しましたが、訪れてみると従業員10名程度のびっくりするぐらい小さな事務所で、とても気さくに対応していただき、日本離島センターの主な業務、新島村が令和9年4月から「特定有人国境離島」に正式追加される見通しのため、そのメリットやデメリット、島内での

起業や事業拡大、雇用の創出に対して国の交付金から強力な補助が出ることで、その審査のことなどを詳しくご説明いただきました。これだけの少人数で日本の総島数約1万4千島、うち有人離島数255島の案件をこなしているのは、単に職員が優秀であるだけではなく、島に対する深い愛情が感じられました。

### 離島住民のための ワークショップ 島づくり大学

公益財団法人日本離島センターが主催する「島づくり人材養成大学」は、離島の地域活性化や産業振興を担う次世代のリーダーを育成する短期集中型の研修プログラムです。他地域の離島で活動する参加者との交流やフィールドワークを通じて、自らの島を見つめ直し、研修後に地域へ戻ってからも、その学びやつながりが島に良い影響として広がることを目指しているとのこと。

平成4年度の開講以来、全国の島々から受講者が集い、これまで延べ719名



日本離島センターが島の魅力を広く知ってもらうために製作した島の歌「星なる島よ」



しまのうた「星なる島よ」

の修了生を輩出しています。平成23年（2011年）には当議会の木村諭史議長も参加しており、近年では令和5年以降、3年連続で新島村から参加者が出ています。新島村では、現地集合に係る交通費助成についても令和6年から予算化されています。



# 新島村議会の活動とありかたを、モデル例と照らし合わせて考えます！

『町村議会議員のための議会活動・議員活動のモデル例』が全国議長会より令和8年3月に発行されました。このモデル例のなかで『議会としての住民対話』は「住民に開かれた議会・議員のなり手確保を目的に開催」と紹介されています。まさに当議会が6月・7月に取り組んでいた内容でしたので、ご紹介します。

## ～議員の仕事伝える試み～

なり手不足は、**地域における議会の役割・議員の仕事が住民に伝わっていないこと**や、定額な議員報酬にあると考えられています。

## 開かれた議会の活動例

議会としての住民対話／3日

### 議会報告会と主権者教育の実施

モデル議会では、住民に開かれた議会を実践するための議会報告会（4地区、計2日）と議員のなり手確保を目的とした主権者教育（模擬議会、1日）を実施しています。

議会報告会は、当初予算の審議がある3月定例会後の5月に開催し、議会・議員活動の内容と成果を報告するとともに、住民からの意見を聴取する場として開催しています。

また、将来の主権者となる地域の子ども達に地方自治の重要性と議会の役割などを理解してもらうため、小学校と連携して議場を活用した模擬議会を実施しています。



町村議会議員のための  
議会活動・議員活動のモデル例

令和8年3月

全国町村議会議長会  
National Association of Town and Village Chairmen

## ～なり手不足の問題意識～

住民の多様性を反映した合議体である議会の機能に大きな影響を及ぼすだけでなく、地方自治体の弱体化を招きかねません。

## 式根島での出前授業



▲黒板には、担任の市原先生による板書メモがびっしり。充実した時間となりました。新島への校外学習の際にでも、議場でお待ちしています！（関連レポートは9ページに）

## 新島村での活動

## 議員と一緒に考える会

議員と一緒に考える会

新島村の課題や将来について  
議員と一緒に考えませんか？

議員報告  
議員報酬について / 群馬県なんもく学童視察 / 議定高校生学童視察

|                                                                     |                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| <p>新島</p> <p>7月5日 日</p> <p>19:00~21:00</p> <p>住民センター<br/>2階 集客室</p> | <p>式根島</p> <p>7月7日 火</p> <p>19:00~21:00</p> <p>開発総合センター<br/>2階 研修室</p> |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|

過去の開催を含めた最新のお知らせはこちらから！

QRコード

テーマ募集

皆さんが気になるテーマや議員と話し合いたいことをお寄せください！

この議会は こちら

QRコード

▲議員と一緒に考える会のポスター。議会だより号外等で報告や第2弾開催もお知らせしたいと思います。

# スピーカーズ コーナー

広報委員が地域の皆さんに  
インタビュー！

海を愛し、島の漁業について熱く語る  
「にいじま漁業協同組合」の皆さん  
にお話を伺いました。(取材・小久保利佳)

小久保／漁師になろう  
と思っただけは？

菊地／なるべくしてなった！

みんなやっぱ！と思っただけ(笑)。

木村／役場の漁業体験がきっかけで、  
放課後、漁師さんの船に乗せてもらっ

たことから。

石山／友人に誘われて。

磯部／幼い頃から海が身近にあり、  
釣りが大好きだったから。

植松／親の影響で自然と。

小柳／釣りが好きで、海洋国際高校  
の同級生の縁で足立区から来ました。



@JF\_NIIJIMA

にいじま漁業協同組合の皆さん

後列左から第二寛栄丸：植松大貴さん、寛栄  
丸乗船中：石山蓮琉さん、大三丸研修中：木  
村蔵武さん、盛進丸乗船中：小柳聡吾さん  
前列左から鈴木正明組合長、菊新丸：菊地重  
史さん、丸若丸：磯部貢さん

小久保／ふだ  
んの仕事のな  
かで、特に心が  
けていること  
は何ですか。

石山／釣れる

ときにが  
ばって釣る！

菊地／漁があ  
るのが一番で

すが、ケガなく  
無事に帰って

くること。

木村／一つ一  
つの行動に疑  
問を持ったら

質問をすること。

磯部／海の状態は変わりやすく  
危険が多いので、天候の把握や海

流の変化に気をつけています。

植松／先輩の漁師に迷惑かけな

いようにすること。

小柳／安全第一！

小久保／大変なことがあっても、この仕  
事を頑張ろうと思えるのはなぜですか。

磯部・石山／がんばったぶん結果につな  
がりやりがいがある！地域の暮らしに

も役立っていると感じているから。

菊地・木村／何があっても海が好きだから！

植松／明日は釣れるかも、という希望が  
あるから！

小久保／漁師として、自分が成長したと  
感じるのとはどんなときですか。

菊地／思った場所に道具が落ちてキンメ  
が釣れたとき。

木村／操船に少し慣れてきたと感じたと  
き。

磯部／海の状態をよく見て先の一手を考え  
たり、次の一手を打てるようになったとき。

植松／間接的に漁師から褒められたとき  
(笑)。

小久保／これからの島の漁業のために、

挑戦してみたいことはありますか。

石山／魚の捌き方講座をやりたい。

小柳・植松・菊地／朝市をやって島  
を盛り上げたい！

木村／遠方まで遠征したいです。

磯部／仲間を増やして新島・式根島  
の漁業を盛り上げていきたい！

資源を大事にし地産地消にも取り  
組みたい！

## 編集後記

年間の議員活動のうち、5〜6月  
は議員が最も忙しく動き回る時期の  
一つです。GW明けすぐに都内の市  
町村議員が集結する「議員研修会」、  
島に帰るや否や「議員視察」、そして  
6月の「定例会」、返す刀で「東京都大  
島支庁管内事業説明会」など、東京―  
新島を行ったり来たりが目まぐるし  
い毎日となります。他にも各種委員  
会や今後の方針等を話し合う「全体  
協議会」などの会議があります。

そんななかトドメのように「議  
会だより」の編集に入りますが、各議員  
は与えられた時間とスペース、そし  
て生命力を使い切って編集に臨んで  
おります。少しでも多くの方に読ん  
でいただきたいです。 吉見 一之